

- 1 件名
  - ・例にならい、施設名を入れて件名とする。
- 2 需要場所
  - ・電気需給契約書の需要場所を記載する。
- 3 供給期間
  - ・通常、契約開始日から1年間となる。
- 4.(1) 供給電気方式等
  - ・「電気需給契約書」を参照し、「供給電圧」の値(a)を①に、「計量電圧」の値(b)を②に転記する。
  - ・供給電気方式は、現在電気の小売が自由化されている高圧以上の施設では、必ず「交流3相3線式」となる。標準周波数も必ず「50ヘルツ」である。
- 4.(2) 契約電力、予定仕様電力
  - ・「電気需給契約書」を参照し、「契約電力」の値(c)、毎月の電気料金計算書に記載されている「最大電力」の年間最大値又は今後1年間で使用する予定の最大電力の最大値のうち最も大きいものを③に転記する。
  - ・後述するように、別紙2-1を作成後、別紙2-1の「年間予定電力使用量合計」の値(23ページのb)を④に転記する。
- 4.(3) 電気のCO<sub>2</sub>排出係数
  - ・「東京都グリーン購入ガイド」の規定を記したものである。
- 4.(4) グリーン電気供給計画書等の提出
  - ・電気のCO<sub>2</sub>排出係数が、0.392(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)未満であることを確認するため、所定の様式の提出を求める。
- 4.(5) 電力量等の検針
  - ・特別高圧受電又は高圧受電施設であって契約電力500kW以上の場合は、通常、自動検針装置が設置されており、検針方法は「遠隔自動検針」、計量器の構成は「電力需給用複合計器(通信機能付 精密級)」である。
  - ・高圧受電施設であって契約電力500kW未満の場合は、一般電気事業者へ確認を行い、記載する。

電 気 需 給 契 約 書			
東京都〇〇施設(以下甲といいます。)&〇〇電力株式会社(以下乙といいます。)&の間における電気の需給について次のとおり契約を締結します。			
契約種別	業務用季節別時間帯別電力	需 要 場 所	東京都〇〇区〇〇〇番〇号
契約電力	③ 1,500 キロワット	需 給 地 点	乙の供給用配電箱における乙の母線と甲の地路しや断装置(UGS)の電源側接続点
供給電気方式	交 流 3 相 3 線 式	電 気 工 作 物 の 財 産 分 界 点	需給地点に同じ
標準周波数	50 ヘルツ	保 安 上 の 責 任 分 界 点	電気工作物の財産分界点に同じ
供給電圧	標準電圧 ① 6,000 ボルト	適 用 料 金	基本料金率 ① 円 銭
計量電圧	標準電圧 ② 6,000 ボルト		
需給開始日	平成 16年 4月 1日	電力料金全率	ピーク時間 ②-1 円 銭 夏季月間 ②-2 円 銭

イ 仕様書（2ページ目）

(6) 需給地点

地域を管轄する一般電気事業者の供給用配電箱における地域を管轄する一般電気事業者の母線と甲の地絡しゃ断装置（UGS）の電源側接続点

(7) 電気工作物の財産分界点

需給地点に同じ

(8) 保安上の責任分界点

電気工作物の財産分界点に同じ

(9) 燃料費、力率、環境配慮等による調整

甲及び乙は、燃料費、力率等の変動があった場合は、協議の上、契約価格を改定することができる。ただし、その増額幅は、地域を管轄する一般電気事業者の燃料費調整額及び力率による割増率を超えないものとする。

また、乙の環境配慮の程度の不足による契約価格の減額改定を必要とするときは、乙の申し出に基づき、協議の上、価格を改定することができる。なお、環境配慮調整による減額対象電力使用量は、千kWh単位で決定するものとし、その減額幅は、本件調達と合わせて調達する環境価値の確保に関する契約の単価を下回らないものとする。

(10) 電力使用量の実績について

電力使用量の実績について、次のとおりである。

- ① 月別実績電力使用量を別紙 2-1 に示す。
- ② 日別実績電力使用量を別紙 2-2 に示す。
- ③ 時間別実績電力使用量を別紙 2-3 に示す。

なお、上記②及び③に示すデータについては、甲の計測装置での計測値と地域を管轄する一般電気事業者の計測値との誤差があるため、参考データとして取扱うものとする。

(担当)

東京〇〇施設

担当者

電話 ※※

4.(6) 需給地点

- ・「電気需給契約書」を参照し、「需給地点」の記載事項（d）を転記するが、その際、「乙」は「地域を管轄する一般電気事業者」に置き換える。なお、「地域を管轄する一般電気事業者」とは東京電力株式会社のことである。

4.(7) 電気工作物の財産分界点

- ・「電気需給契約書」を参照し、「電気工作物の財産分界点」の記載事項（e）を転記する。

4.(8) 保安上の責任分界点

- ・「電気需給契約書」を参照し、「保安上の責任分界点」の記載事項（f）を転記する。

4.(9) 燃料費、力率、環境配慮等による調整

- ・燃料費、力率等の変動による契約価格の改定については、地域を管轄する一般電気事業者（東京電力㈱）の増額の範囲内で協議により認めるため、記載する必要がある。
- ・環境配慮の程度の不足による契約価格の減額改定については、乙の契約後の事由により CO<sub>2</sub> 排出係数が基準値を上回る可能性がある場合に、CO<sub>2</sub> 排出係数を補正するとともに、契約単価の割引を行うための記載である。

4.(10) 電力使用量の実績について

- ・日別実績電力使用量（別紙 2-2）及び時間別実績電力使用量（別紙 2-3）については、原則として、実績データを用意し作成するものである。

➤ 日別・時間別実績電力使用量データについて

特定規模電気事業者が見積を行うにあたっては、当該事業者の発電所等から調達する電気供給量と電気需要家の需要量との間の 30 分同時同量の原則を考慮しなければならない。そのため、曜日別の実績電力使用量及び一日の時間別の実績電力使用量のデータがある方が、より詳細な電気調達計画を立てやすく、また、電気供給と需要とのマッチングリスクを回避しやすい。

このことが、結果として、「競争見積」の際の経済的競争力を高め、発注者としてより安価な電気を購入することができる。

電 気 需 給 契 約 書					
東京都〇〇施設(以下甲といいます。)と〇〇電力株式会社(以下乙といいます。)の間における電気の需給について次のとおり契約を締結します。					
契約種別	業務用季節別時間帯別電力	需 要 場 所	東京都〇〇区〇〇〇番〇号		
契約電力	1,500 キロワット	需 給 地 点	乙の供給用配電箱における乙の母線と甲の地路しゃ断装置(UGS)の電源側接続点		d
供給電気方式	交 流 3 相 3 線 式	電 気 工 作 物 の 財 産 分 界 点	需給地点に同じ		e
標準周波数	50 ヘルツ	保 安 上 の 責 任 分 界 点	電気工作物の財産分界点に同じ		f
供給電圧	標準電圧 6,000 ボルト	適 用 料 金 率	基本料金率	① 円 銭	
計量電圧	標準電圧 6,000 ボルト		電力量料金率	ピーク時間	②-1 円 銭
需給開始日	平成 16年 4月 1日			夏季昼間	②-2 円 銭
検針基準日	毎月末日			その他季昼間	②-3 円 銭
計量日	毎月末日	業種および用途	夜 間	②-4 円 銭	事務所
契約期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日までとします。ただし、契約期間満了に先だつて甲または乙から別段の意思表示がない場合は、本契約は、契約期間満了後も1年ごとに同一条件で継続されるものとします。 なお、別段の意思表示は、相手方に対し文書をもって行うものとします。				

ウ 様式 1-1 (グリーン電気供給計画書) 及び様式 1-2 (グリーン電気供給実績報告書)

様式 1-1

契約番号	19□□□□第□□号
平成19年7月20日	
東京都知事 殿	
依頼者 氏名	新宿区△△ ○○電力株式会社 代表取締役  (法人にあり及びまた)
グリーン電気供給計画書	
仕様書 4. (4)に基づき、グリーン電気供給計画書を提出します	
東京都○○施設で使用する電気の	

別添

CO<sub>2</sub>排出係数計画書

1 供給電気におけるCO<sub>2</sub>排出係数の計画値について

以下のとおり、供給電気におけるCO<sub>2</sub>排出係数の計画値を報告します。

供給年度	供給期間	予定使用電力量 (kWh)	年度別CO <sub>2</sub> 排出係数計画値 (CO <sub>2</sub> -kg/kWh)
19	平成19年7月1日 ～平成19年3月31日	3,450,000	0.390 以下
	4月1日 ～5月31日	1,150,000	0.395 以下
排出係数計画値*			0.3912 以下

排出係数計画値は、供給年度ごとの予定使用電力量に当該期間を乗じたものを合計し、予定使用電力量の合計で除した値とす。この値は、小数第4位以下を切り捨てるものとする。

様式 1-2

契約番号	19□□□□第□□号
平成20年7月18日	
東京都知事 殿	
依頼者 氏名	新宿区△△1-2-3 ○○電力株式会社 代表取締役  (法人にあり及びまた)
グリーン電気供給実績報告書	
仕様書 4. (4)に基づき、グリーン電気供給実績報告書を提出	
件名	東京都○○施設で使用する電 (単価契約)
需要場所	東京都□□区□□□□丁目□番
契約期間	平成19年7月1日から平成20年
契約金額	¥□□,□□□,□□□- (うち消費税に係る消費税及び地方
予定使用電力量	4,600,000キロワット時
CO <sub>2</sub> 排出係数実績報告書	別添のとおり
連絡先	○○電力株式会社 営業部 営業第一課 担当 氏名 □□ □□ (電話番号 03-5388-□□□□)
※備考欄	

別添

CO<sub>2</sub>排出係数実績報告書

1 供給電気におけるCO<sub>2</sub>排出係数の実績値について

以下のとおり、供給電気におけるCO<sub>2</sub>排出係数の実績値を報告します。

供給年度	供給期間	予定使用電力量 (kWh)	年度別CO <sub>2</sub> 排出係数実績値 (CO <sub>2</sub> -kg/kWh)
19	平成19年7月1日 ～平成20年3月31日	3,450,000	0.390 以下
20	平成20年4月1日 ～平成20年6月30日	1,150,000	0.398 以下
補正係数*1			0.999
供給電気におけるCO <sub>2</sub> 排出係数実績値*2			0.3916 以下

※ 1 補正係数は、環境配慮調整の対象使用電力量を予定使用電力量の合計で除した値を1から減じた値とする。算出された値は、小数点第4位を切り上げて、小数点第3位まで記載するものとする。

※ 2 供給電気におけるCO<sub>2</sub>排出係数実績値は、供給年度ごとの予定使用電力量に当該期間のCO<sub>2</sub>排出係数実績値を乗じたものを合計し、予定使用電力量の合計で除した値に補正係数を乗じた値とする。なお、算出された値は、小数点第5位以下を切り捨て、小数点第4位まで記載するものとする。

2 添付する書類  
供給電気におけるCO<sub>2</sub>排出係数の実績値の根拠として、以下の書類を添付します。

エネルギー環境計画書 (平成19年度)	△別紙 (1) のとおり
エネルギー状況報告書 (平成20年度)	△別紙 (2) のとおり
その他 ( )	△別紙 ( ) のとおり

エネルギー環境計画書及びエネルギー状況報告書については、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成12年東京都条例第215号)第9条の3及び第9条の5に基づき、都へ直近に提出したものを添付すること。

様式 1-1 (グリーン電気供給計画書) 及び様式 1-2 (グリーン電気供給実績報告書) は、請負者が作成し、発注側に提出する書類である。  
これらの書類により、電気の CO<sub>2</sub> 排出係数が、0.392 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) 未満であることを確認する。

(4) 電力使用量の実績データ表の作成要領

ア 別紙1 (年間予定使用電力量)

年間予定使用電力量 (平成19年7月～平成20年6月)

別紙1

年月	予定使用電力量		予定時間別内訳【KWh】				その他
	①	【KWh】	①ピーク時間	②夏季昼間	③その他季昼間	④夜間	
平成20年4月		350,000	0	0	200,000	150,000	
平成20年5月		350,000	0	0	200,000	150,000	
平成20年6月		450,000	0	0	250,000	200,000	
平成19年7月		550,000	100,000	200,000	0	250,000	
平成19年8月		650,000	100,000	250,000	0	300,000	
平成19年9月		550,000	100,000	200,000	0	250,000	
平成19年10月		350,000	0	0	200,000	150,000	
平成19年11月		350,000	0	0	200,000	150,000	
平成19年12月		450,000	0	0	250,000	200,000	
平成20年1月		550,000	0	0	300,000	250,000	
平成20年2月		600,000	0	0	350,000	250,000	
平成20年3月		550,000	0	0	300,000	250,000	
年間予定電力使用量合計		4,600,000	300,000	650,000	1,600,000	2,050,000	

「年間予定使用電力量」は、契約期間について、別紙2-1 (月別実績使用電力量) を利用して作成する。そのため、手順としては、先に別紙2-1を作成する必要がある。

通常は、過去の月別実績使用電力量を、そのまま年間予定使用電力量とするので、別紙2-1のaの部分、①の部分に、そのまま転記する。

なお、契約期間について、施設や設備が拡張されるなど、過去と比べて使用電力量が大幅に変動することがあらかじめ分かっている場合は、そのことを考慮した予定使用電力量とする。

「年間予定電力使用量合計」の値 (b) を仕様書の4.(2) (18ページの④) に転記する。

月別実績使用電力量 (平成18年4月～平成19年3月)

別紙2-1

年月	最大電力【kW】	使用電力量【kW】	時間別内訳【kWh】				力率【%】	その他
			①ピーク時間	②夏季昼間	③その他季昼間	④夜間		
平成18年4月	1,000	350,000	0	0	200,000	150,000	100	
平成18年5月	1,000	350,000	0	0	200,000	150,000	100	
平成18年6月	1,100	450,000	0	0	250,000	200,000	100	
平成18年7月	1,300	550,000	100,000	200,000	0	250,000	100	
平成18年8月	1,500	650,000	100,000	250,000	0	300,000	100	
平成18年9月	1,300	550,000	100,000	200,000	0	250,000	100	
平成18年10月	1,000	350,000	0	0	200,000	150,000	100	
平成18年11月	900	350,000	0	0	200,000	150,000	100	
平成18年12月	1,000	450,000	0	0	250,000	200,000	100	
平成19年1月	1,100	550,000	0	0	300,000	250,000	100	
平成19年2月	1,200	600,000	0	0	350,000	250,000	100	
平成19年3月	1,100	550,000	0	0	300,000	250,000	100	
年間予定電力使用量合計		4,600,000	300,000	650,000	1,600,000	2,050,000		